

夏の幼稚園

及川ふみ

東京市麴町區の教育會で、夏の幼稚園 を開催せられてから、今年で丁度四年目になります。その始めの年から、番町、富士見の兩小學校附屬幼稚園に當校の保育實習科生の有志をおくつて、一つにはこの夏の幼稚園の先生方の御手傳をさせていただきます、又一つには實習科生それ自身の保育實習こいふ事にいたしました。

實に炎暑のきびしい盛夏の三週間、しかも朝は七時頃より夕方四時頃まで、この時間的から考へても平常の實習時間よりも、はるかに長いこの仕事にたへられるであらうかこ懸念致しましたのも最初の年だけでありました。こいふのはこの實習中に誰一人病氣もせず、又途中であきたこいふ事もなく首尾よくつこめ終へましたからであります。その次の年からは毎年の例となり兩方の幼稚園に數人つゝお願ひいたすこになりしました。

こんなわけで生徒だけはお願ひしてゐるものゝいつも七月末日頃までは講習、八月になれば東京をはなれる年が多かつたために、一度もこの夏の幼稚園の様子を拜見することがありませんでした。ところが八月七日に富士見幼稚園から御丁寧に夏の幼稚園參觀の御招きをうけました。

伊勢へ旅立つ前日で丁度よい機會を喜んで朝から拜見に伺ひました。丁度九時半頃でありましたでせう三つのお部屋ではそれ／＼お仕事がつゞけられておりました。

おやつにたべたキャラメル空箱で自動車も澤山つくられております、帆かけ船のぬりゑも飾られてあります。

まごのお部屋に入つても三週間の終りに近い今日ですから幼児も先生もよくなれて、しつくりした調子で日頃の實習科生も見えす立派な一人前の保姆さんになりきつて見えました。午前中のおやつは、ビスケット八個位で幼児たちは数へながらうれしそうにいたゞいておりました。

庭ではプールの水が新らしくりかへられて幼児たちの入るのをまつばかりになつております。

「今日プールに入る人」を先生に云はれて手をあげる数人（この部屋は最年少組）幼稚園で用意された白い奇麗なパンツに洋服をまきかへてポツ／＼プールのまわりに集る。あまの二組は大きい人たちだけに大勢支度して出てくる。簡単な體操があつて笛の合圖で一同ぎつぎ飛びこむ。見てゐる自分も幼児になりたいと汗をふき／＼羨しくながめてをりました。

女の子も男の子も数人は泳げるやうで縦横にかへる泳ぎをしておりました。

しきりにプールの水遊びがすむと又笛の合圖で外へ出でます。横の低い物干さから各自の記名の手拭をこつてごしごしふいてゐる。今度は疊のお部屋で人形芝居がはじまります。プールにはいらずにそのまわりでブランコや砂場で遊んでゐた人たちとそいでお部屋に入つてゆきます。チョン／＼と拍子木合圖に幕があきました。舌切雀の第一幕目であります。この日まごに御招待の區の學務委員方、町會の方、區役所の學務課の方々お珍らしいのでせう聲を出して笑つておいでになりました。幼児も興味深く見入つております。悪いおばあさんが重いつゝらをあげてびつくりのまごころで幕がおりました。

晝食は梅干さおにぎり。大きなのは三つ位小さいのは八つもはいつております。それを一粒ものこさずいたゞきました。食後のウガヒも上手に出来ました。わづかの間にいろ／＼の訓練も立派に出来てゐるこのまごあすで終りになるのがつく／＼おもしろい事だと思はれました。食後の自由遊びの後は各部屋へござをしきその上に毛布をのせてお晝寝です。よく

熟睡してゆりおこす幼児も数人あるこの事でした。

御多忙な津田校長先生も終始幼稚園にお出ましで何かさ御心ぞへになり小杉先生はじめ小松、内田の兩先生も暑さを忘れて何くれさ幼児の御相手に懸命でおいでになりました。

山に海に暑さを避けて楽しく遊んでゐる幼児たちにも勝ることも劣らないこの夏の幼稚園に遊ぶ幼児たちは幸福であります。

諸先生方から實習科生のまめくしく立ち働くのをよろこばれて心ひそかにうれしく感じてをりましたところプールの服で幼児のパンツや手拭をすゞぎながら小使夫妻が言葉をつくして實習科生のよく働く様子をほめました。

おひるねの最中しづかにおいさまをいたしました。

九段下へ出る途中、靖國神社の横を通りながら、夏の幼稚園を參觀させていたゞいただけでもうれしいこの日に校長先生はじめ小使さん方まで實習科生の御禮を云はれて汗ばんだからだも足のはこびも早く坂下へつきました。

水にこねて砂黒たまのまゝごきの

幼き子らはさもしきろかも